

授業科目名： 国際政治の理論と方法			担当教員名： 畠山京子
選択必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 1 後	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●	●	

○授業の到達目標及びテーマ

本授業の目的は、国際政治の理論と方法に関する基本的な知識を教授し、国際政治に関する様々な研究を実施する能力を養うことである。

○授業の概要

国際政治は複雑である。しかし理論的な枠組みを通して分析すれば、意外とシンプルでもある。国家行動の説明が可能となるだけでなく、将来行動の予測も可能となる。本授業では、リアリズム、リベラリズム、構造主義、コンストラクティビズム、マルキシズムなどの様々な国際政治理論について、事例を使用して学ぶ。本コースでは、国際政治理論に対する知識を深めるだけでなく、論理的思考能力を養うことを目的とする。

○授業の方法

毎回の授業では、パワーポイントを基に担当教員が講義を行い、さらにそれに基づいたディスカッションを実施する。受講生は下に示された文献に前もって目を通し、積極的に議論に参加することが求められる。

さらに受講生は3000字程度のターム・ペーパーを提出する。ターム・ペーパーのテーマは、担当教員が適宜指示をする。

○授業計画

- 第1回 授業の紹介
- 第2回 古典的な国際政治（ウェストファリア体制）
- 第3回 分析レベル
- 第4回 古典的現実主義
- 第5回 ネオリアリズム
- 第6回 リベラリズム
- 第7回 ネオリベラリズム制度論
- 第8回 マルキシズム
- 第9回 従属論
- 第10回 世界システム論
- 第11回 構成主義
- 第12回 規範、アイデンティティ、アイディア
- 第13回 グローバルガバナンス（ゲスト講義）

第14回 政策決定論

第15回 まとめ

○テキスト

○参考書・参考資料等

大芝亮『国際政治理論』ミネルヴァ書房、2016

○学生に対する評価

- 1) ディスカッションへの参加度：40%
- 2) タームペーパー：60%

○警戒レベル3以上の場合の授業形態について
オンライン（ズーム使用）

○警戒レベル2以上の場合の授業形態について
オンライン（ズーム使用）